



# たかぎ 議会だより

No.107

令和6年11月



前号までの議会だよりはこちらから▶



うま 美し郷 喬木 150周年！今、新たなステージへ！！

**P2・3** 定数削減・報酬改定

**P4・5** 定例会審議 令和6年度補正予算

**P6・7** 予算決算常任委員会

**P8** 令和5年度 決算認定

**P9** 社会文教常任委員会(付託審査)

**P10** 一般質問

総務産業建設常任委員会

**P11** 議会かつどう・アレ・これ

**P12・13** 社会文教常任委員会(委員会視察)

**P14** 議会モニター懇談会

**P15** 下伊那北部ブロック町村議会議員研修会

**P16** この村でがんばってます

## 秋の夜を彩る灯り



富田諏訪神社 秋のお祭り



曙月庵・阿島傘・竹灯籠まつり



150周年冠事業 ハロウィンイベント



150周年記念イルミネーションフェス

第3回喬木村議会定例会開会日に、発議第4号として提出された議員の定数削減の発議は、質疑・討論・採決が行われ、反対4 賛成6で可決された。報酬審議会の答申を受け提出された議案第31号は、原案のとおり可決された。

## 定数について

○発議第4号 議会の議員定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由：議会の現状と将来展望について十分考慮し、定数削減により狭き門となったとしても議員を目指す志を持った人たちにより議会を構成し、村への政策提案機能及び監査機能を発揮するとともに、村民の代表として付託にこたえる議会を目指すため。

## 反対討論

住民の声を、住民の代表である議員が、無視してはいけない。令和4年度行われた村民意識調査・令和5年11会場で行った住民との懇談・モニター懇談会においても12人が適当との意見が多く聞かれた。多様な住民の声を反映させるためには、年齢、地域、男女も含め12人が必要（中略）

村民は議会に何を求めているのか。村民からの地域に関する要求を聞き、村政に反映する。そのためには民意をくみ取ることが使命であり、議員を出していない地区の声をどのようにくみ取っていくのか。議員を減らせば村民の声がとどかない地区が出てくる。（中略）

当初から12名と決めていた。10名にすることは議会が萎縮してしまうことに繋がる、これからの村の実情を踏まえリニア、三遠自動車道などの開通を見据え、多くの意見を聞くには最低12名が必要。宮田村に見るように12名を超えないとは言えない。（中略）

## 報酬について

○議案第31号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由：喬木村特別職報酬審議会の答申を受け、報酬月額の設定を行うため。

### 20余年ぶりの報酬アップ

議員のなり手不足の要因の1つとして、議員報酬の低さがあげられている。報酬審議会から今回答申がなされ、審議の結果20余年ぶりの大幅改定となった。

# 定数削減・報酬改定

## 審議結果

議案等	審議結果	松村光洋	小川原美智穂	福沢一成	佐藤文彦	福澤真理子	櫻井 登	後藤澄壽	中森高茂	木下温司	下平 貢	後藤章人
発議第4号	可決	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	議
議案第31号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

○=賛成 ×=反対 議=議長

## 議会の議員の定数に関する条例

改正案	現 行
地方自治法（昭和22年法律第37号）第91条第1項の規定により、議会の議員の定数を <u>10人</u> とする。	地方自治法（昭和22年法律第37号）第91条第1項の規定により、議会の議員の定数を <u>12人</u> とする。

※定数削減は、令和7年6月選挙から

## 賛成討論

当初12名で考えていたが、地区懇談会等で最終的には議員で決めてほしいとの意見があった。3期目の改選時に声掛け努力をしたが結果、候補者擁立に至らなかった。定数減となっても、様々な立場の方が自由に立候補できる環境整備に向けた取り組みが必要である。（中略）

議員全協などでこの問題を検討する中12名を主張する皆さんから具体的な発言がなかったため考えが変わった。少ない人数でもSNS等の活用により、情報の収集は可能。人口減少の中、スマートな議会を作っていく必要がある。（中略）

将来の予測や展望を考えた時、現状の12名を維持して行った方が良いと考えていたが、なり手のいない現状で住民の声を聞く中、今後10名でも多様な民意を拾える様、より効率的で効果的な議会運営をするためには更なる議会改革が必要だと考え、賛成する。（中略）

## 議員報酬の推移

（単位：円）

	平成14年3月まで	平成14年4月～	平成15年4月～	平成18年4月～	平成27年4月～	令和2年4月～	令和7年※～
議 長	260,000円	254,800円	247,000円	234,600円	247,000円	255,000円	267,000円
副 議 長	187,000円	183,260円	177,000円	168,100円	177,000円	185,000円	194,000円
委 員 長	160,000円	156,800円	152,000円	144,400円	152,000円	165,000円	182,000円
議 員	151,000円	147,980円	143,000円	135,800円	143,000円	150,000円	172,000円
定数推移	議員定数18人	議員定数18人	議員定数18人	議員定数12人	議員定数12人	議員定数12人	議員定数10人

※令和7年の場合、令和7年4月1日以降初めてその期日を告示される一般選挙において選出される喬木村議会議員の任期の開始する日から適用

# 定例会審議内容

令和6年第3回定例会は9月5日開会、報告案件4件、人事案件1件、議員・特別職報酬、5年度決算、6年度補正予算を含め19案件と発議2件は全会一致で可決承認。議員定数発議1件は賛成多数で可決し、請願1件、陳情1件を採択、陳情1件を賛成少数で不採択、9月18日閉会した。

	議 案	審議結果
報 告	令和5年度公共災害道路災害復旧工事変更請負契約の締結 工事場所 喬木村(1)5号線上平 変更前契約金額 51,700,000円 変更請負代金増加額 2,079,000円 受注者 野島建設株式会社	—
	令和5年度中原宅地造成工事変更請負契約の締結 工事場所 喬木村帰牛原中原 変更前契約金額 85,547,000円 変更請負代金減額 1,727,000円 受注者 大平建設株式会社	—
	令和5年度決算に基づく健全化判断比率について 内容：指摘すべき事項はなしとした監査委員の報告	—
	令和5年度決算に基づく資金不足比率について 内容：資金不足は生じていないため、該当しないとの監査委員の報告	—
議 案	喬木村教育委員会の委員の任命について同意を求めることについて 要旨：富田 木下守夫さん 任期 令和10年9月30日まで	同 意
	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 要旨：議会の議員の議員報酬及び費用弁償等の改正 詳細は3P参照 適用区分：次期議会議員より適用	可 決
	特別職の職員で常任の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 要旨：特別職の職員で常任の者の給与に関する一部改正 施行日：令和7年4月1日	可 決
	喬木村福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について 要旨：令和6年12月2日以降被保険者証の発行が廃止されることに伴い、保険医療機関窓口で提示を求める書類についての文言を修正するもの	可 決
	喬木村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について 要旨：マイナンバー法の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令の公布に伴い、条例の一部改正を行うもの	可 決
	長野県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約の制定について 要旨：マイナンバー関係法令の改正に伴う、広域連合及び関係市町村が行う事務を定めた規定を改めること	可 決
	村道路線の認定・廃止について 要旨：村道3号線及び5号線、旧中央保育園周辺道路新設に伴う、村道路線の認定・廃止	可 決

請願	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める請願書	請願者：女性会議 長野県本部飯伊支部 支部長 木下容子さん	採択	発議
	陳情第2号 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書	陳情者：長野県医療労働連合会 執行委員長 小林吟子さん		
陳情	陳情第1号 現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出を求める陳情書	陳情者：飯伊地区 社会保険推進協議会 代表 遠山 計さん 長野県保険医協会 会長 宮沢裕夫さん	不採択	発議

議員	松村光洋	小川原美智穂	福沢一成	佐藤文彦	福澤真理子	櫻井 登	後藤澄壽	中森高茂	木下温司	下平 貢	後藤章人
陳情第1号	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	議長

※議長は採決に加わりません。

(賛成…○ 反対…×)

### 反対

- 村の状況・対応を定例会初日に確認をしたところ村の中では問題はない。全国的な調査報道も承知はしているが、当村では不安があって相談にくる人にも丁寧な説明をして理解して貰っているとの確認ができた。問題が確認できない中で、意見書を提出すると住民の不安をあおることにつながりかねない。
- 長野県で紐づけられた各種情報の確認をおこなったところ、244,246件中60件の誤りがあったが、既に修正が完了していると言う。当村においても大きな苦情はないと言う。デジタル化を止めるべきではない。都合の良さを感じて貰うのが一番だと考える。

### 賛成

- デジタル化に反対ではないが、進め方の問題である。介護施設の7割が不安としている。12月から廃止できる状況でない。こうした状況の中で、強行すべきでない。
- 利便性は理解しているが、高齢化や後継者がいない個人医院では全国的にかなり廃業していると聞いたりする。健康はかかりつけのお医者さんに託してるような状況であり、今ここですべきではなく、並行してやっていくべきである。

発議	議会の議員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議員発議	可決	意見書提出
	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	提出先：衆議院議長・参議院議長 内閣総理大臣・総務大臣 法務大臣・外務大臣 内閣府特命担当大臣 (男女共同参画)		
	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書	提出先：内閣総理大臣 厚生労働大臣 総務大臣 法務大臣		

## 令和6年度補正予算 総額2億1,607万円 ピックアップ事業

- 一般会計の歳出では
  - 道路橋梁維持管理経費 3,500万円
  - 予防接種事業経費 1,079万円
  - ICT活用教育関係経費 1,062万円
  - 地域おこし協力隊事業 711万円
- 3 特別会計の補正予算は決算確定による前年度繰越金の計上が主
- 2 事業会計の補正予算の支出は貸又水管橋改修工事増工分、公共柵取出口工事費などを計上

自主防の  
女性リーダーの育成は?



災害対策経費

問 自主防災組織リーダーは、女性リーダーの育成にもぜひ力を入れて貰い、女性目線の意見が反映されるようにして貰いたい。

答 自治会には、女性視線は大事だとお願ひして来ている。研修ごとにお願ひもしているが、実際は、お願ひをしても受けてもらえない状況である。防災士の補助金もごなたでも受けることができる。引き続き推進に努めていきたい。

消防車が出動できないとき  
どうするう~?



消防団運営経費

問 火災が起きたとき、消防団がいなくて消防車が出動できないときは、身近な機関をどのように出動させるか。

答 現在の体制では、他の班の人や防災リーダー・地区の人が、機関を動かす体制は取れていない。まずは、消火栓・消火器により、初期消火に当たって貰う。

今後の村民

適したデマンド交通の導入を検討していきたい。



胡桃沢残土処分場の  
跡地利用は?



三遠南信自動車関係

問 胡桃沢残土処分場の跡地利用は。

答 氏乗地区を含めた跡地利用検討委員会を立ち上げて検討して貰っている。まずは、地元でどう使っていきたいか意見を挙げて欲しいとお願ひしている。村の意見とも合わせて跡地利用をどうするか。考えて行くことと話をしているが、具体的には、まだ決まっていない。



子どもたちへの  
租税教育は?



税務一般経費

問 租税教育の推進について、協議会内で乖離があると言っているが、何がどう乖離があるのか。

答 税務署の理想は、各市町村単位で学校に赴いて学習をドンドン進めてほしいとの要望をいただいているが、現状役場の職員が出向いて学習を行うところまではできていない。学校・教育委員会等を含めてどんな租税教育が良いのか考えて進めていく必要があると思う。

コンビニ交

扱をしていく。



時代に合わせたお金の  
徴収は?



会計一般経費

問 組合で集金するものが多い。今後、各種お金の徴収について時代に合わせた方法をどう考えるか。

答 南信交通災害は、総務課で来年以降の新たな納付方法を検討している、緑の募金と日赤の活動費は、どのような方法が良いか検討を協議していきたい。



喬木の魅力 景観のPRは?



地域おこし協力隊

問 村のホームページに観光ライブカメラが配信されているが、更新されていない。地区で自慢の景観などを協力隊の協力を得て、配信できないか。

答 昨年度末に、協力隊のYouTubeチャンネルを開設している。村内の飲食店のPR動画も載せる活動をしている。YouTubeチャンネル等を利用してながら協力隊による情報発信も取り組んでいきたい。

財政が硬直化  
なっちゃう。

る。PRも含め村内の色んなみなさんの協力を得て、うまく事業展開したい。

全議員参加の予算決算常任委員会で、令和5年度決算審議・令和6年度補正予算審議

「賛成多数で認定」までに、議員が質した決算の質問は計58件  
来年度予算へもっと価値ある事業となるようみなさんの声を反映していきます

予算決算常任委員長 小川原 美智穂

河川維持経費

これからの河川清掃  
どうしよう？

問 河川清掃の負担が大き  
く大変と聞く。どのよう  
に考えているか。  
答 無理にやってみるのは難し  
い。河川の敷地内のできない  
ところは県に  
管理をして貰  
う等の要望を  
上げていきま  
す。



地域コミュニティ

自治会の負担軽減は？

問 自治会の負担軽減を村  
としてどのようなところ  
で考えているのか。  
答 現在、区会連絡会で意見交  
換をしている。役員の負担軽  
減にICTの活用↓アプリの  
紹介をしている。引き続き聞  
き取りをしな  
がら、どんな  
自治会のあり  
方が良いか検  
討していきま  
す。



村民バス運営経費

バスはどうなる？

問 デマンド交通の導入は  
様々な課題があると言  
うが、どう考えているか。  
答 デマンド交通を導入してい  
る先進自治体へのヒアリング  
を行い、成功事例等を把握し、

村単農業改良事業

井水等の地元負担が大変だ!!

問 補助金を使っても井水の取  
り入れ部分やトンネル部分の  
修繕は莫大な地元負担が発生  
する。何か考えはあるか。  
答 今年度から補助率を上げて、地  
元負担を軽減しているが、地元負  
担が必要になる。地元で負担がで  
きるのか。どこの範囲でやりたい  
のか。どんな整備が必要なのか。  
地元の意見を聞きながら対応を検  
討していきたい。

災害対策経費

蓄電池の配備は？

問 災害時には、初期の電気の  
確保が重要だが、避難所等へ  
の蓄電池の配備は。  
答 非常に高価である。もとより、  
その前段階の準備・整備ができて  
いない。  
今、蓄電池の配  
置は、予定はし  
ていない。



戸籍住民基本経費

付できるように  
なるのあ〜？

問 コンビニ交付に対する今  
後の対応は。  
答 コンビニ交付導入のために数  
千万円かかり、ランニングコス  
トもかかる。今後のマイナンバー  
カードの活用状況を見ながら選

U-Jターン

空き家バンクのPRIは？

問 空き家バンクの活用が低調とい  
うのは、制度があることを知らな  
い人がいるのでは。  
答 周知が必要だと考えている。加えて、  
個別に所有者に直接当たる必要がある。  
協力隊の空き家チー  
ムにより、スピード  
感を持って掘り起こ  
しを進めていきま  
す。



地域おこし協力隊

協力隊の報告会は？

問 以前行っていた地域おこし協力  
隊の報告会は、今どうなっている  
のか。  
答 内部で検討し、地域おこし協力隊の活  
動が住民のみなさんに見えるような報  
告をする機会を設ける  
よう検討を進めたい。



財政分析

すると財源不足に  
どうする？

問 歳出の義務的経費が伸びてい  
る。財政の硬直化につながってい  
く。今後の動向と対応は。  
答 村税、ふるさと納税の増額が大きな課  
題となってくる。ふるさと納税をどう対  
応していくかが、村の取り組むべきこ  
ろと思う。現在新たな商品も検討してい

# 令和5年度 決算を認定

## 一般会計

歳入決算額 45億6,617万円 前年比△13.2%

歳出決算額 39億7,798万円 前年比△16.3%

- \* 4年度に比べ、新型コロナ対策事業やたかぎ保育園、クラソ喬木整備事業の完了により減少
  - \* 6年度へ繰越た事業は、旧中央保育園跡地等の宅地造成関係、道路橋梁関係等や世界的な車両生産事情等により、排水ポンプ車購入も繰越
- 6年度への繰越事業額は2億8,857万円

### 5年度歳出を4人家族のタカギ家の支出額にしてみました

食費（人件費）	53万円
医療、介護費（扶助費、社会保障費）	33万円
自宅改修、車の購入など （建設事業、災害復旧等投資的経費）	40万円
ローン返済（公債費）	23万円
その他生活費（産業振興等）	103万円
貯金（積立金）	15万円
合計	267万円
貯金残高 330万円	ローン残高 163万円

詳しい決算内容は右の二次元コードから情報誌たかぎ11月号をご覧ください。



### 令和5年度 喬木村財政指数（類似団体平均値は4年度実績）

指数名称	5年度数値	4年度数値	数値の内容
財政力指数	0.25	0.24	数値が高いほど、自主財源の割合が高く、財政力が強い （類似団体平均値0.34）
経常収支比率	79.6%	78.0%	70～80%が妥当、財政構造の弾力性を示し、数値が高いほど財政が硬直化している（類似団体平均値86.1%）
実質公債費比率	8.5%	7.9%	公債費による財政負担を表す （類似団体平均値8.3%）
実質赤字比率	—	—	全ての会計が黒字決算で資金不足が生じていないため該当なし
将来負担比率	—	—	将来負担額を充当可能財源が上回るため該当なし

問 財政力を高めるには？

答 企業誘致等による村税の増額を進めたいが、現時点ではふるさと納税の増額を図りたい

たかぎ保育園、クラソ喬木整備事業の完了により歳出額が前年度より減少

## 3 特別会計歳出額

国民健康保険特別会計	6億391万円	前年比+6.7%
後期高齢者医療特別会計	9,017万円	前年比+2.6%
介護保険特別会計	8億764万円	前年比△2.0%

## 2 事業会計歳出額

上水道事業	2億4,316万円	前年比△21.1%
下水道事業	5億9,274万円	前年比△29.2%
* 一般会計よりの繰入金合計	1億8,526万円	

### 監査委員の視点

- 一般会計は黒字、特別会計は資金不足が生じていないことから健全。
- 一般会計の歳入は前年比△13.2%、歳出は前年比△16.3%となったが、たかぎ保育園・クラソ喬木等の事業が終了したことによるためであり、通常規模に推移した。
- 5年度は39人の社会減、74人の自然減、出生数は3年続けて30人を下回り、少子化が深刻化している。

# 社会文教常任委員会

委員長 福澤 眞理子

令和6年第3回定例会 請願1件 陳情2件の付託  
審査を行った。意見書を作成、本定例会に発議5号・  
発議6号・発議7号を委員会として上程した。

## 請願第4号 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める請願書

請願者 J女性会議 長野県本部 飯伊支部 木下容子さん

紹介議員 福澤一成

〈質疑3件〉

問・条約の批准と選択議定書の批准違いは何か。

答・条約は法律みたいなもの。選択議定書はそれを守り、推進するためのもの。国内で司法の限りを尽くしても不利益を解消できないとき、国連の委員会に個人、集団で通報または調査の申し立てができる。

〈討論 5件〉（反対討論なし）

賛成・日本のジェンダーギャップ118位は政治と経済の面でかなりの遅れをとっている。選択議定書の批准は条約自体の実効性を強くするもの。批准しないことは人権を守る国にふさわしくない。

・重要な役目を男性に任せるという意識も根強い。男性の意識とともに女性の意識改革も必要だ。

↳ 採決 賛成多数 → 結果 採択 → 意見書

## 陳情第1号 現行の健康保険証の存続に関する意見書の提出を求める陳情書

陳情者 飯伊地区社会保障推進協議会 代表 遠山 計さん

長野県保険医協会 会長 宮沢裕夫さん

〈質疑3件〉

問・施設でマイナカードを管理できない理由が分からない。

答・紛失の可能性もある。厳重な管理が必要で人的体制がなく担当者を置けないと聞く。個人情報取り扱いが重要視されており、管理・責任を負うのが重すぎ、厳しいと答えている。

・コピーでない本物を預かる責任の重さが大きすぎる。管理できない、は61%を越えている。

〈討論 5件〉

反対・事務の簡素化も含めて推進するべき。DXを進めていくには期限を切って進めるべきだ。喬木村では問題は起こっていないと聞いた。

賛成・保険証のコピーを預かることとマイナ保険証を預かることは責任の重さが違う。7割近い施設が躊躇している。いったん立ち止まって耳を傾けるべきだ。

反対・だめな明確な理由がわからない。デジタル化する環境を整えることが必要で、足を止めることはだめで、進めていくべきだ。

賛成・国民の多くは迷っている。デジタル化は進めるべきだが、民意は一本化に根強い異論がある。

↳ 採決 賛成多数 → 結果 採択 → 意見書

## 陳情第2号 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書

陳情者 長野県医療労働連合会 執行委員長 小林吟子さん

〈質疑3件〉

問・資料は医療労働組合連合会のものか。その組織はどのくらいか。

答・医療・介護労働者は800万人。医療連は18万人程度。飯伊では下伊那赤十字病院、厚生病院、健和会病院、はやしの杜、ゆいの里が加盟。(国立)松本病院、信大病院の労組も加盟。

〈討論5件〉（反対討論なし）

賛成・従事してくれる人が処遇の悪さに離職してしまう。緊急の課題だ。

・ベースアップで処遇改善を図るべき。施設への支援も一緒にしていただきたい。

↳ 採決 賛成多数 → 結果 採択 → 意見書



「高齢者の居場所」の現状と課題について

後藤 澄 壽 議員



Q 「高齢者の居場所」の現状と課題はどのようになっているか。

A 元気な方には、喬木スポーツクラブなどで活動してもらい、介護の必要な方には、介護施設など利用してもらっている。課題は、介護の担い手をいかに確保するかということで、介護サポーター養成講座などを行っている。

■遊休農地の現状と課題、後継者のない農地に対する方針について



喬木村の「地域計画」が及ぼす今後の村の農業の変容について

櫻井 登 議員



Q 「地域計画」の策定主体は市町村である。当村に最適な「地域計画」に基づく営農をどのように考えているか、村の取組みを伺う。

A 農用地の効率的かつ総合的な利用を図るため、農用地等の区域における農業経営基盤強化が目的と認識しているが、農地の集約化（国の方向性）は何か何でもではなく、現状の営農を維持していく計画も可能であり、地域の皆さんと話し合いながら、状況に合わせて柔軟な対応を取りたいと思っている。

■「地域計画」の進捗状況、今後の計画について  
■村のPRをうまくするには

総務産業建設常任委員会

委員長 佐藤 文彦

本定例会において、総務産業建設常任委員会への付託議案はなく、委員会協議会として、諸課題についての今後の対応と、国・県への要望項目の検討を行った。

国・県への要望項目

【 国 】

財務省＝三遠南信自動車道の建設促進及び地方道の更なる整備拡充・強化に係る事業の財源確保を求める要望書  
国土交通省＝三遠南信自動車道の建設促進及び地方道の更なる整備拡充・強化を求める要望書

【 県 】

1. 県道上飯田線  
阿島橋の架け替え及び小川・下氏乗間の拡幅改良整備
2. 主要地方道下条米川飯田線  
富田バイパスから国道256号間の拡幅改良整備推進
3. 主要地方道下条米川飯田線  
一般県道下久堅知久平線交点から弁天橋間の拡幅改良整備推進
4. 一級河川壬生沢川の河川改修整備推進



唐澤飯田建設事務所長へ提言

現地視察

伊久間での議会地区懇談会において、吉川区長より、伊久間区内の現地視察の要望があり、9月17日行った。

視察箇所は、伊久間原水除土堤・周辺雑木林・境ノ沢の3カ所。

伊久間原水除土堤は段丘の端縁に沿って南北に1,737m伸びており、伊久間原に大雨が降った場合、一度に下の集落に流れ落ちるのを防ぐために設けられている。

3カ所の視察を行い現状の把握はできた。今後、委員会として対応について協議を行っていく。



伊久間原水除土堤



伊久間境ノ沢

農村RMO長野県出前講座 開催

令和6年11月25日(月) 防災センター2F 13:00より

「農村RMOってなに？」一緒に勉強しませんか。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

# 議会かつどう・アレ・これ

6月定例会以降行われた、議員活動についてピックアップしてお伝えします。村主催のイベントなど、様々な活動を行ってきました。議員活動の様子を知っていただけたらと思います。9月定例会については、各委員会のページにて報告します。

7月

## 町村議会議員研修会

令和6年7月12日(金) 松本市 キッセイ文化ホール

## 5町村首長シンポジウム

令和6年7月19日(金) 喬木村福祉センター

## 北部ブロック町村議会議員研修会

(内容について 15Pにて報告)



北部ブロック町村議会議員研修会

8月

## 二十歳のつどい

令和6年8月15日(木) 喬木村福祉センター

令和6年度対象者72名 参加者47名

## 棕文学夏期講座

令和6年8月18日(日) 棕記念図書館2階研修室

前棕鳩十記念館・記念図書館長の菅沼利光先生の講演

## 議会モニター懇談会

令和6年8月21日(水) 議場にて

(内容について 14Pにて報告)



喬木村二十歳のつどい

9月

## 喬木村発足150周年記念事業

### 小平奈緒氏講演会「知るを愉しむ」

令和6年9月7日(土) 喬木中学校体育館

### 小学校運動会

令和6年9月14日(土) 第1・第2小学校

第1小学校、第2小学校に分散して出席

### 村内視察

令和6年9月17日(火) 伊久間地区

### 中学校青風祭

令和6年9月20日(金)~21日(土)

喬木中学校

第59回青風祭開催式

### 令和6年度町村議会広報研修会

令和6年9月25日(水) 東京ニッショーホール

読まれる議会広報誌の作り方などを学ぶ

### 喬木村発足150周年記念式典

令和6年9月28日(土) 喬木中学校体育館

### 喬木まつり

令和6年9月28日(土)

総合運動公園・たかぎ保育園周辺



## 喬木村発足150周年 記念事業

### 小平奈緒氏 講演会



青風祭

## 子育て支援に関する視察研修

7月16日 岡山県奈義町、17日に岡山県西粟倉村において、子育て支援に関する委員会視察研修を行なった。

### 視察目的

2019年の合計特殊出生率2.95の奈義町。若者が仕事をもって移住してくるという西粟倉村。子育て支援に力を入れている二つの町村に子育て支援、事業の取り組みを現地で研修し、本村に照らし研究する。

## 岡山県奈義町での研修

### ■奈義町の概要

中国山地のど真ん中。森林面積は80%だが、奈義山のふもとで平坦地であり、中心部から半径2kmに8割が定住している。  
面積 6954㎡ 人口 5,560人 世帯数 2,438世帯 高齢化率 35.4%  
特色：自衛隊日本原駐屯地がある。(行政区の約2割)  
町の一般会計予算規模45億円 内子育て支援単独事業費 約2億円である。(一般会計に占める割合4～5%)



チャイルドセンター

## 子育て支援 奈義町が抱える地域課題の解決

### ① 切れ目ない経済的支援

在宅育児をする保護者に毎月15,000円の支援金、小中学校の給食費無償化、小中学校の教材費を無料化、高校生への就学支援 年額24万円（バス通学）、大学生に町独自の奨学育英金年間60万円、卒業後に町へ定住で全額返済免除など支援を行っている。

### ② メンタル的支援・気運醸成・産前産後ケア

きずなメールによる情報配信  
産前産後、育児に必要な情報をプッシュ型配信  
母乳相談 回数制限なし 助産師が無料で訪問  
産後ヘルパー 簡単な家事など支援 (30分250円)  
保健師・愛育委員による新生児訪問(生後4か月まで)など行っている。

### ③ 住む場所、働く場所、教育等

\*結婚と同時に出去てしまう

賃貸、集合、戸建て住宅 の提供・分譲地整備  
魅力ある教育 12人のALT配置 (賛否あり)  
企業誘致 16社立地 7割は町外から就業  
しごとコンビニ事業など行っている。



子どもすべす



チャイルド内交換品

### なぎチャイルドホーム

#### 町民同士で支え合う子育てサポート

多世代交流施設、子育て世代が気軽に通える施設であり、子育てアドバイザーが常駐、育児相談、地域住民による子どもの一時預かり、子ども食堂で一緒にご飯を食べるなどを日常的に行っている。



## 岡山県西粟倉村での研修

### ■西粟倉村の概要

面積 57.97 Km<sup>2</sup> (森林92.6%)  
人口 1,300人余 世帯数 600世帯 高齢化率 38.7%  
一般会計予算規模 39.9億円

### 西粟倉村はこんなむら

- 新しく起業する若者が集まっている
- 50社以上の企業で事業を創出している。
- 教育による地方創生の取り組みをしている。



議場多目的スペース

### あつまる・つながる・やってみる 何でもやれる 村の中心地の「あわくら会館」

役場庁舎・公民館・図書館・議場など入り、サークル活動、学生の研修、オンライン会議、活動の発表の場、映画や音楽鑑賞、高齢者のおしゃべり場、住民が望むことなら限りなく可能に、をコンセプトに造られ、運営されている。議場も多目的に活用されている。

村の木で、村に住む職人が設計も建築も担っている。

### 施策の一部

- 中学生の海外語学研修 2・3年生の希望者、夏休みオーストラリアへ。ホームステイして10日間現地の学校に通う。
- ブックスタート 0歳～3歳まで4回、8冊をプレゼント
- ベビーバス、ベッド、ベビーカー、チャイルドシートなど無料レンタルを行っている。
- チャイルドシート 乳幼児世帯へ一人1万円購入補助を行っている。

### 一般社団法人 Nest の立ち上げ

教育系のローカルベンチャー推進。  
Nestは「学びのプロデューサー」  
学校教育と社会教育 をつなぐ役目を果たしている。



図書館の子どもコーナー

### 子どもの第3の居場所 Pocket

ここを基地にして、自然体験、学習機会、語学研修の事前学習、文化体験などを行い、地域食堂がある。  
子どもたちの活動に地域住民の参加、かわりをもっている。

## 2つの町村の視察を終えて

- 何より住民全体の意識が、村づくりに必要な世代を超えた交流、そこから生み出される助け合い、支え合いがあり、そこに切れ目のない個々の子育て支援施策がかみ合って、子どもの成長を住民みんなで見守る風土が培われている。子どもを真ん中にして、子育て、教育、健康づくり、経済振興の循環を生み出し、成果を上げている。
- どれだけお金を出しても、出生のインセンティブにはならない。本村の子育て支援事業は、決して劣ってはいない。施策の一つ一つ、各組織、政策はそれぞれに機能しているが、枠を越えた組織の融合と住民全体で地域をつくるという気概はと考えると、そこが少し欠けていると感じた。個々の施策にも学ぶべきものがあった。  
行政側の参加もいただいたので、連携しながら村の子育て支援へ反映できるように研究を進めていく。

## 第2回定例会について

ユーチューブを見たが、顔が見えなかった。見る側の立場になって作ってほしいし、改善を望みたい。

Netを活用して誰でも傍聴できるようにすれば良いと思った。

委員会での様子が分からないとき質問や発言できるとありがたい。

チャットGTP、AIの検討があったということで、これからは、AIが当たり前になってきたと思った。定数削減の中で議員の方にも活用頂きたいし、費用も発生するので費用弁償を。



仕事の進め方としてPDCAサイクルが重要である。しかし、C(チェック)A(アクション)が欠けている場合が多い。普段からCを想定した仕事の進め方を明確化にしていくことが規範だと思っている。

くりんネット、ユーチューブで見られるのは、一般質問だけなので、残念だった。

## 喬木村の将来像について

- ◆無医村にならないような施策を。
- ◆将来像の中で喬木村の農業問題が気がかりである。
- ◆とよおかマルシェには、観光バスがひっきりなしに来ていて、その方たちを喬木村に引き寄せる魅力のある観光業があればと思う。リニア、三遠南信道の開通後はもっと来てくれる。総合的にやれば、人が集まる。村が繁盛していく。
- ◆リタイアした者が相談できる場があればいいなと思った。
- ◆子供・老人を大切に、大人はそれぞれの場所で活躍し住民が協力し合う元気な村。
- ◆いちごを使った素敵な場所が伊久間・小川に欲しい。
- ◆大和知は景色の良い場所がありグランピングとかどうか。
- ◆喬木村村内で食べて、遊んで、泊まって、買い物ができれば良いなと思う。
- ◆人口減少、歳入減少、高齢化(独居老人増)、歳出増、財政が厳しくなるのは明らか、その中で従来通りの住民サービスが維持できるのか。
- ◆シニア世代にやさしい村づくりを。(高齢者アパート・墓・家の処分や山林処分・入院時の保証人など)
- ◆喬木村を(自動運転・デジタル社会・マーケティング・見守り…等々)企業の実証実験データ取りに協力する村として全国にアピールする。(休日夜間議会も)
- ◆村がデベロッパーと組んで中原地区に40坪程で若い人にも購入できる値段設定で大規模宅地開発を行う。
- ◆高齢者用アパート・シェアハウスなども検討が必要。

## その他

- ◆戸数の少ない耕地の役員を極力減らし耕地として生き残るか、大きい耕地との合併の2択。
- ◆地区の高齢化や若者の減少による消防団員の減少対策や分団の統合は。
- ◆空き家対策や山間地区の若者の定住対策を。
- ◆鳥獣被害対策(電気柵をしても被害は収まらない)と荒廃農地対策を。
- ◆人口減少は止められないが、企業誘致・高速交通網の活用などを最大限利用した人口増対策を。
- ◆村発足150周年で9月28日に花火をまとめたが、お盆の花火を楽しみにしている方が多いと聞いている。
- ◆高校通学の交通手段は不便で保護者負担が大きい、定期代の負担や、通学での自転車購入補助金制度はできないか。
- ◆大学短大卒業まで喬木村での補助環境が整えば安心して子育てができ、人口流出を防ぐことにつながると思うし、村に興味を持つ人が増えるのではないか。
- ◆各区会・自治会の担い手が減少する中で組織はそのままのところが多い。議会としても各区会や自治会と一緒に考えていただけるとありがたい。
- ◆自分たちの村をどのようにしていきたいか、中学生の模擬議会の取り組みだけでなく、保育園保護者会・小中学校PTA/各団体(スポーツクラブ)等との意見交換する機会があると良い。
- ◆安野たかひろさんとアドバイザー契約し、先進的なデジタル化の実証などを利用した災害対策の推進等。

7月26日 本年当番村 喬木村で開催  
**下伊那北部ブロック町村議会議員研修会**

北部5町村議会全議員参集 課題解決に向けて議論

視察研修：三遠南信自動車道 青崩峠トンネル



研修会：各町村からあげられた課題について議論が繰り広げられた

喬木村からは、「県道上飯田線の交通アクセス改善について」  
 「小中学校給食費への財政支援について」の2件を提出



北部ブロック町村議会として、総務・産業・建設分科会、教育・社会分科会それぞれ提出された10件の議題を採択、松川町、喬木村、豊丘村より提出された給食費に関する議題を合同提出することとし、8議題について県、並びに県議会に提出することとした。

9月26日 県庁にて要望・提言書を提出

**提出議題**

- 県竹林整備に係わる支援の充実について
- 一級河川唐沢川（南方～古町北部）河川改修の整備推進について
- 県道上飯田線の交通アクセス改善について
- 下伊那北部地区活性化に向けて「竜神大橋」の早期完成について
- 主要地方道松川インター大鹿線の防災事業の推進及び国道152号線の通年通行の実施について
- 社会福祉制度の分野において、専門性を有する職員の確保について
- 福祉分野における交通弱者の移動支援について
- 小中学校給食費への財政支援について



北部5町村議会 正副議長出席



本年当番村である後藤議長より県議会議長へ提出



# 阿島傘を世界へ!

阿島傘一凛 水谷 慎

地域おこし協力隊として千葉県から移住してきた水谷です。5年間の修行を経て阿島傘一凛を開業し、WEB販売を中心に阿島傘を作っております。

阿島傘は江戸時代中頃から阿島を中心に作られ続けている和傘で、年間30万本以上も作られるほどの一大産業だったものの洋傘の台頭により衰退し、一時期は菅沼商店さん1軒しか残っていない危機的状況にもなりました。現在では村の文化資源・観光資源としての価値を見直されてきており、9月には長野県の伝統工芸品認定を受けました。



阿島傘一凛ではWEB上で阿島傘のデザインを作るシミュレーターを用意しており、お客様のご希望に合わせたセミオーダーの阿島傘を受注販売しております。実用品でありながらも見た目も美しく、また自然素材でSDGsにも合った阿島傘は、まだまだ躍進の力を秘めた工芸品です。ゆくゆくは海外販売へと拡大して阿島傘を世界に広めて行けたらと思います。

皆様、これからも阿島傘をよろしく願いいたします。

## 議会日誌

### 7月

- 18日 議会地区懇談会富田地区
- 26日 北部ブロック議員研修会

### 8月

- 6日 議会地区懇談会寺の前地区
- 7日 全員協議会・議員全員協議会
- 21日 議会モニターとの懇談会
- 26日 議会地区懇談会伊久間地区
- 27日 議会地区懇談会埴牛原地区

### 9月

- 5日 令和6年第3回定例会開会  
全員協議会・議員全員協議会
- 9日 議会地区懇談会北地区
- 10日 各常任委員会  
議会地区懇談会郭地区
- 11日 議会地区懇談会加々須地区
- 2日 予算決算常任委員会
- 17日 定例会一般質問
- 18日 定例会閉会・議員全員協議会

### 10月

- 1日 議会地区懇談会氏乗地区
- 4日 議会地区懇談会町地区
- 8日 議会地区懇談会南地区
- 9日 議会地区懇談会上平地区
- 10日 全員協議会・臨時議会
- 15日 議会地区懇談会馬場地区
- 20日 議会地区懇談会大島地区
- 26日 議会地区懇談会田上川地区
- 31日 飯伊市町村議会議員研修会

### 11月

- 8日 全員協議会・議員全員協議会
- 15日 議会モニターとの懇談会

### 今後の予定

### 12月

- 5日(木) 令和6年第4回定例会開会(案)  
全員協議会・議員全員協議会
- 11日(水) 各常任委員会(案)
- 14日(土) 一般質問(案)
- 18日(水) 定例会閉会・議員全員協議会(案)

定例会  
一般質問

YouTube



見てネ!

あとがき

第3回定例会において議員定数削減、報酬アップを可決しました。令和7年6月改選時より定数10名及び議員報酬の改定がされます。女性や若者など多様な民意が反映される議会でなければ益々住民から遠い存在になってしまふ、選ばれた議員により、村民の皆様の付託に応えられる議会でありたい。

喬木村も百五十周年を迎え新たなステージに向け進んでいく。議会もまた新たなステージへ!!

(松村光洋)

### 編集委員会

- 委員長 福澤 一成
- 副委員長 小川原美智穂
- 委員 松村 光洋
- 委員 後藤 澄壽
- 委員 木下 温司